

### 着物で広がるコミュニケーション 日本文化を深く理解し 掴んだ世界一

ナンシー・マースデンさん

4月に開催された、着物の着装技術や美しさを競う、2017全日本きもの装いコンテスト世界大会の外国人の部で優勝したナンシーさん。「友人や仕事仲間、海外に住む母も駆け付けてくれ、応援してくれた。そのような中、優勝できてうれしい」と話します。

カナダ出身のナンシーさんは、現在、宇都宮市内に住み、翻訳と通訳の仕事の傍ら着物教室に通っています。「目標があるとがんばれるタイプ。どのような着方が正しいのか、どうしたら早くきれいに着装できるか考え、優勝を目指し何度も練習した」と、大会の際は初めて自分で購入した、難易度の高い振り袖で臨みました。

「初めて拳玉や紙風船で遊んだ時、日本の文化に引き込まれた」と、カナダ在住の小学生時代に日本に興味を持ったナンシーさん。それ以来、日本語を勉強し、7年前に来日しました。

「着物を着ていると、話しかけてくれる人が多い。国籍関係なくコミュニケーションがとれ、人の輪が広がる」と笑顔のナンシーさん。



「今後は、人に着物を着つけられるようにしたい。また、宇都宮の文化にも興味があるので、ぜひ学びたい」と、次なる目標を掲げ、挑戦は続きます。

### 今回のゲスト

ジャネット ロックさん  
(アメリカ)

アメリカオレゴン州出身。17年前から日本に在住。現在は、市内で通訳・翻訳の仕事に携わる。納豆、すし、天ぷらなど、日本食は何でも好き。餃子は、焼き餃子がカリカリしていて好きです。



外国人の皆さんに宇都宮のイトコを訪れてもらいました

### 今回のテーマは「宇都宮城」

今回は、今私が住んでいる宇都宮のことをさらに知るために、市内を巡ってみました。

まず、私が訪れたのは宇都宮二荒山神社。宇都宮の歴史を知る上で、欠かせない場所です。アメリカは日本に比べて歴史が浅く、古い建物はないので、由緒ある建物に感動します。

次に案内してもらったのは、今回のテーマである「宇都宮城」。アメリカにはお城がないのでとても新鮮です。宇都宮城は、現在は一部しか復元されていないようですが、その当時は日光東照宮に向かう将軍が宿泊するための御成御殿と呼ばれる建物があったそうです。このように、宇都宮城の歴史や役割を知り、宇都宮城を中心に当時の街が広がっていったことを想像すると、当時の生活がどのようなものだったか、興味深く感じます。

皆さんもぜひ、地元に愛着を持つきっかけに、改めて宇都宮二荒山神社と宇都宮城址公園に足を運んでみてはいかがでしょうか。



1 二荒山神社で櫻井貫さん(市文化財ボランティア協議会理事)より説明を受けるジャネットさん 2 宇都宮城址公園ものしり館内にて 3 復元された宇都宮城清明台。

「宇都宮城」について、7月9日(日)午後7時15分～7時25分とちぎテレビ「教えてイトコUTSUNOMIYA」(再放送)で放送します(48ページ参照)。併せてご視聴ください。

◎不動産所得税納税通知書を7月10日に発送 納税通知書が届いたら内容を確認して、納税してください。▽対象 平成28年中に新築・増築・改築により家屋を取得した人▽納期限 7月31日▽納税方法 最寄りの金融機関、コンビニエンスストアまたは県税事務所で納税できます。☎宇都宮県税事務所 ☎(626)3014